

若手プロジェクトリーダー9期生 プログラム概要

研修のテーマ

【本研修】

ステークホルダーとの関わりに改善点を見つけ、協働プロジェクトを成功に導く

研修のねらい

【通年】

- ・ プロジェクトを客観的に捉え、成果を評価し、今後に向けた改善点を提案できる

【本研修】

- ・ 協力の力学を学び、自身のプロジェクトにおけるステークホルダーの選び方、連携体制の作り方を見直す
- ・ 具体的な改善点を見つけ、プロジェクトの改良を重ねていく方法を身に付ける
- ・ フィールド実習の準備をすすめる

研修内容	研修のねらい
「協働のポイントを学ぶ」 ・協力の力学を学ぶ(講義) ・架空事例で協働プロジェクトをつくる(グループワーク) ・自身の助成プロジェクトにおける協働体制に改善点を見つける(個人ワーク)	・同質性・共感性だけに頼らず、多様なステークホルダーの関与を意図的に高められるようになる。 ・協働体制の改善を繰り返すことで、プロジェクトを育て、目標達成に近づけていく方法を身に付ける。
「フィールド実習の準備」 ・訪問先のお話を伺う ・協働の視点から訪問先で学べることを整理する。 ・各自の学習目標・質問・事前調査等を準備する。	・フィールド実習をこの3年間の集大成のひとつと捉え、訪問先でプロジェクトを客観的に捉え評価する力を試す。 ・自身の助成プロジェクトに役立つ学びを得るための準備事項を明らかにする。

期待する効果

【本研修】

- ・ 組織の内外を問わず、意見の相違に関わらず、他者と協力を築く、協働力を高める
- ・ 協働の視点からプロジェクトの改善点を発見し、助成終了後の自走化を成功に導く
- ・ フィールド実習を、プロジェクトを客観的に捉え、改善点を見出す力をつける機会にするための準備が整う

研修スケジュール

7/3(水)【1日目】		
10:00～11:00	3期合同オリエンテーション ・開会のあいさつ・事務連絡 ・研修の趣旨説明 ・講師、基金スタッフの紹介 ・研修生自己紹介、合同交流会	地球環境基金
11:00～11:15	移動・研修準備	
11:15～11:20	開始・事務連絡	地球環境基金
11:20～11:50	進捗共有 ・助成プロジェクトや自身の状況 ・5分×6人	池本 桂子氏
11:50～12:50	講義「協力のつくり方」 ・協力の力学、協力の種類、協力のプラットフォームづくりと評価 他	
12:50～14:00	昼食	
14:00～15:00	グループワーク「協働プロジェクトづくり」 ・2グループに分かれる ・架空事例を基に協働体制の図表作成 ・発表と相互フィードバック	池本 桂子氏
15:00～15:20	個人ワーク「自身の助成プロジェクトにおける協働体制の改善点」	
15:20～16:20	個人ワークの発表と相互フィードバック ・発表5分＋質疑・助言5分 ・10分×6人	
16:20～16:30	事務連絡・終了	地球環境基金

7/4(木)【2日目】		
10:00～10:05	開始・事務連絡	地球環境基金
10:05～10:20	1日目のふりかえり 午後のワークの説明 ・協働のポイント確認	池本 桂子氏

	・フィールド実習の学習目標や質問整理のワークシートの解説	
10:20～11:50	プレゼンテーション「ホールアース自然学校の協働事業」 ・ホールアース自然学校・Tomaru の説明 ・訪問予定先や旅程の紹介 他	小原 賢二氏 柳沼 翔子氏
11:50～12:05	質疑(池本氏) ・協働の視点で整理	池本 桂子氏
12:05～12:30	質疑(9 期生)	小原 賢二氏 柳沼 翔子氏
12:30～13:45	昼食	
13:45～14:15	個人ワーク「フィールド実習の学習目標・質問整理のワークシート」	池本 桂子氏
14:15～15:45	個人ワークの発表と相互フィードバック ・発表 7 分+質疑・助言 8 分 ・15 分×6 人	
15:45～15:50	フィールド実習までの予定確認 ・中間共有など	
15:50～16:00	事務連絡・終了	地球環境基金

9 期生研修 メンター

池本 桂子 氏 / (特非)協力アカデミー 理事

1998 年、公益社団法人日本ナショナル・トラスト協会に入職。会員対応やイベント運営を担当しながら、シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会の活動にも参加。環境 NPO の立場で、NPO 法や寄付税制など市民活動の基盤となる制度づくりに関わった。

2010 年からはシーズの事務局スタッフとして、政策提言活動のバックオフィス業務、事務局管理を主に担当した。2020 年からは会計事務所に所属し、様々な NPO 法人の事務局サポートに従事している。とりわけ小規模 NPO の事業開発において「協力のテクノロジー」を活用し、普及に努めている。



9 期生研修 講師

小原 賢二 氏 / NPO 法人ホールアース自然学校 新潟校

1982 年新潟市生まれ。大学卒業後 3 年間日本と海外を旅する。2007 年から 4 年間、地域活性の仕事として地域ブランディングやプロモーションに携わる。2012 年から現在まで、ネイチャーガイドとして山や森を始めとした様々なフィールドにおいて体験活動を行う。その過程で、自然が人に与える心理的影響に可能性を感じ、アウトドアでの対話やリトリート等に取り組む。現在は、「自然」「コミュニケーション」「学び」をキーワードに、ネイチャーガイドやリトリートガイド、企業研修や人材育成、教育機関での授業やまちづくり等に関わり、人と組織と地域の支援を行い、「1 人ひとりの可能性が最大限発揮される社会」を目指して活動している。



柳沼 翔子 氏 / Tomaru

1985 年、神奈川県生まれ

イギリス マンチェスター大学 人文科学部卒(開発学)

2009 年、株式会社エイチ・アイ・エス(国内旅行業大手)に入社。個人向けに旅行の企画・販売を担当し、最優秀賞(神奈川県における旅行・海外保険販売業績 1 位及びお客様からのアンケート実績 1 位)を 2 回受賞。

2012 年、若手の離職率が高い環境をより良くしたいと考え、株式会社ファーストキャリア(企業研修のサービスファーム)に入社。営業部門のマネージャ、人事部門の立ち上げおよび責任者として、社内外の組織力強化に従事。

2018 年に独立、研修講師(キャリア構築、モチベーションマネジメント、イノベーションなど)、ビジネスコーチ、人事コンサルタントなど様々なアプローチで組織開発に取り組む。

2021 年、人や組織が解放されていくプロセスに自然があることを感じていた時に、利根川源流の町、群馬県みなかみ町の里山再生活動に出会う。現在は、みなかみ町に移住して、組織開発に携わりながら、リトリートや森づくりを通して、地域再生事業に取り組む。地域の一人ひとりの声を聞くこと、自然と共に生き、文化を育む生き方をその地域に合った形で進めることに情熱を注ぎ、リトリートガイド育成事業、コミュニティコーチ事業を立ち上げ、雪国観光圏やみなかみ町と事業を進めている。



若手プロジェクトリーダー10期生 プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・事業やプロジェクトの目標達成に向けた適切な戦略を策定できる
- ・事業・プロジェクト推進上の課題を特定し、適切なアクションを検討できる

【本研修】

テーマ:NPO 経営戦略の理解と課題の特定

- ・活動内で抱える課題を明確に把握し、課題解決をするための方法を理解する
- ・課題解決の方法を共有し、実践に向けて相互にエンパワーしながら活動内容を洗練する

期待する効果

- ・活動で抱える課題の解決方法を理解し、それが団体内で共有・実践され、活動の成果が出る
- ・活動の推進力が強化され、成果目標を達成する道筋がより明確に描けるようになる

研修スケジュール

7/3(水)[1日目]		
10:00～11:00	3期合同オリエンテーション	地球環境基金
11:00～11:15	移動・研修準備	
11:15～12:30	〈午前の部〉 ・事務連絡 ・講師自己紹介 ・研修の流れ、ねらいについて ・研修生自己紹介	堤 大介氏
12:30～13:30	昼食	
13:30～16:45	〈午後の部〉 ・講義&ワーク「NPO 経営戦略」 ・チェックアウト ・事務連絡	堤 大介氏
16:45	終了	

7/4(木)[2日目]		
9:30~11:30	<午前の部> ・事務連絡 ・チェックイン ・講義 & ワーク「NPO 経営戦略」	堤 大介氏
11:30~12:30	昼食	
12:30~16:00	<午後の部> ・ワーク/相互フィードバック&個別相談 ・共有/発表 ・チェックアウト・事務連絡	堤 大介氏
16:00	終了	

10 期生研修 メンター

堤 大介 氏 / NPO 支援家

1986 年北海道生まれ栃木県育ち。筑波大学第一学群社会学類卒。大学卒業後、2010 年に楽天株式会社に入社。新規事業開発系部門にて広告企画、マーケティング、web ディレクション、事業開発などに従事し 6 年間勤務。2011 年よりプロボノとして複数の NPO の支援、立ち上げを経験。2016 年 5 月より株式会社 PubliGo にて、非営利組織の戦略コンサルタントとして 2 年間従事。2018 年 4 月より株式会社 STYZ に参画し、非営利組織向け寄付プラットフォーム Syncable のサービス開発、コンサルティング部門の立ち上げを行い、2019 年 5 月に公益組織支援のコンサルタントとして独立。支援テーマはビジョン・ミッション策定、事業計画立案、ファンドレイジング、Web マーケティング、ボランティアマネジメントなど。



若手プロジェクトリーダー11期生 プログラム概要

研修のねらい

【通年】

- ・ プロジェクトリーダーとしての役割を認識し、成果を生み出す上で必要なモノを把握する
- ・ 自団体のプロジェクトを把握し、成果目標までの道筋を理解する

【本研修】

- ・ 自分自身の強みとキャリア形成を考える
- ・ プロジェクトの3年間の目標と計画を組み立て直す（ロジックモデルの活用）
+
- ・ 11期生の同期間の関係性をあたためる！

期待する効果

【本研修】

- ・ 強みを理解することで、プロジェクトの中での自身の立ち位置や出来ることを把握する。また今後のキャリアをイメージすることで、担当している3年間のプロジェクトやその先のプロジェクトの発展、自走化に向けた道筋をイメージすることができるようになる。
- ・ 自身が担当するプロジェクトのビジョンミッションを整理・把握し、プロジェクト内容をロジカルに考えることができるようになる。
+
- ・ この研修が安心・安全な場であり、安全な場づくりに全員が協力することを共有するとともに、3年間の研修をともにする仲間として、互いを理解し研鑽しあえる関係性の基礎ができる。

研修スケジュール

7/3（水）[1日目]		
10:00~10:20	3期合同オリエンテーション ・ 開会のあいさつ・事務連絡 ・ 研修の趣旨説明 ・ 講師、基金スタッフの紹介	地球環境基金
10:20~11:00	3期合同交流会	地球環境基金
11:00~11:15	各期研修会場へ移動	
11:15~11:25	午前の部 ・ 事務連絡・2日間の目的・講師自己紹介	五井渕氏 草野氏/ezorock

11:25~11:40	・自己紹介+プロジェクト紹介プレゼン準備	五井渕氏
11:40~12:40	・自己紹介+プロジェクト紹介+ポストイット貼り出し	五井渕氏 草野氏/ezorock
12:40~13:40	昼食	
13:40~14:50	午後の部【グループワークと小講義】 ・自分の強みを共有する	草野氏/ezorock
14:50~16:00	・多様な人たちとのチームづくり（価値観の共有）	草野氏/ezorock
16:00~16:40	・ライフ・キャリアについてのフリートーク	五井渕氏 草野氏/ezorock
16:40~16:45	事務連絡	地球環境基金
16:45	終了	

7/4（木）[2日目]		
9:30~9:35	事務連絡	地球環境基金
9:35~9:45	アイスブレイク	五井渕氏
9:45~12:00	午前の部 ・【講義】「事業計画のブラッシュアップ」 ・【個人ワーク】プレゼン準備	五井渕氏 草野氏/ezorock
12:00~13:00	昼食	
13:00~15:10	午後の部 ・全体共有+フィードバック ・【個人ワーク】2日間の感想+ネクストアクション ・全体共有	五井渕氏
15:10~15:30	事務連絡（アンケート、事後課題）	地球環境基金
15:30	終了	

11 期生研修 メンター

五井 利明氏 / 認定 NPO 法人かものはしプロジェクト 日本事業マネジャー

2008 年～2014 年まで東京都内の区役所に勤務。2015 年から独立し、現在は複数の団体・企業に所属するマルチジョブのスタイルで、経営者やプロデューサー、協働コーディネーター、コンサルタントなどの顔を持つ。数多くのコミュニティやプロジェクトを中核として運営してきた実績から、幅広い知見やバランス感覚に定評がある。また、NPO、行政、ビジネスすべてのセクターでの経験を持つことから、多様なステークホルダーそれぞれの立場・視点で、事業をプロデュース・コーディネートできることに強みがある。

一般社団法人 JIMI-Lab 代表理事、箱根あそびネット 代表・発起人、株式会社ウィル・シード インストラクター。



11 期生研修 講師

草野 竹史 氏 / NPO 法人 ezorock 代表理事

1979 年札幌市生まれ。酪農学園大学環境システム学部経営環境学科卒。在学中に国際青年環境 NGO「A SEED JAPAN」の環境対策イベントに参加したことをきっかけに 2001 年に仲間とともに環境団体「ezorock」を設立。北海道最大級の音楽フェスティバルにおける環境対策活動を中心に展開。大学卒業後、建設コンサルティング会社に就職し、まちづくりや環境、観光などの調査に携わる。2005 年に退社し、半年間組織経営の勉強をした後、06 年 4 月に環境 NGO ezorock 代表理事に就任。13 年に NPO 法人取得。若者の社会参加を促進し、次世代の声を社会に届ける仕組みづくりを目指しながら地域づくりや環境活動を実施している。

